（秘）

東洋拓殖株式會社移管ノ理由

一、大正六年會社法ノ改正ニ依リ業務ノ目的ニ於テ拓殖資金ノ供給ヲ主トシ事業ノ經營ヲ從ト爲シタルコト

東洋拓殖會社ハ韓國ニ於テ農業ノ經營、內地人移民ノ取扱及拓殖資金供給ノ目的ヲ以テ設立セラレタルモノナルモ之等業務ノ成績良好ナラス而シテ其ノ主要業務タル拓殖及移民ノ事業ヲ遂行セシムルニハ一層資金ノ獲得ヲ容易ナラシムル必要アルヲ以テ政府ハ東拓社債ニ對シ已ニ保證ヲ爲セル二千萬円限度ノ外大正三年三月更ニ四千萬円ヲ改善ノ方法ヲ攻究スルヲ最モ必要ナリト認ム依テ閣議御決定ヲ請フ

ヲ限リ元利仕拂ノ保證ヲ爲シタルカ越ヘテ大正六年會社法ニ大改正ヲ施シ從來第二次的業務タリシ拓殖資金ノ供給ヲ本業ト爲シ農業及移民ノ事業ヲ副業トシ爲ス所ノ趣旨ヲ以テ業務ニ關スル第十一條ノ本旨ニ規定セラレタル拓殖上必要ナル資金ノ供給シヲ同條ノ第一號ニ移シ且新ニ一條ヲ設ケテ政府ハ必要ト認ムルトキハ拓殖資金ノ供給以外ノ業務ニ使用スル資金ノ額ヲ制限スルコトヲ得ルコト、シ以テ金融第一ノ法意ノ徹底ヲ期セリ（法第十二條）又主トシテ朝鮮ニ於ケル勸業資金供給ノ任ヲ完

カラシムル爲北海道拓殖銀行又ハ台湾銀行ノ例ニ倣ヒ日本勸業銀行ノ代理貸付ノ途ヲ開キ以テ同銀行ノ資金ヲ利用セシムルコト、セリ（法第二十二條ノ二）蓋シ當時朝鮮ニ於ケル産業ノ開發並日本人ノ發展ヲ計ルカ爲ニハ會社ヲシテ直接事業ヲ經營セシムルヨリモ寧ロ勸業資金ノ供給ニ努力セシムルコト最必要ナリシニ因ルモノニシテ之ニ依リ東洋拓殖會社ヲシテ不動産金融ノ親銀行タラシメ事業會社等ニ大ナル資金ヲ供給セシムルト共ニ農工銀行並金融組合ヲ通シテ農業資金供給ノ任ニ當ラ

0000 0482
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

シメントシタルナリ此ノ後半ノ事由ハ朝鮮殖産銀行ノ設立ニ依リ其ノ趣ヲ異ニスルニ至レリト雖尚同社ノ朝鮮ニ於テ重キヲ爲ス所以ノモノ實ニ此ノ金融ノ働キニ在ラサルヘカラス若シ夫レ滿洲ニ於テハ同社ノ此ノ矣ニ於ケル職責ハ一層重大ナリト云ハサルヘカラス政府ハ夙ニ滿洲ニ於ケル不動産抵當ノ貸付長期事業資金ノ貸付ニ恰當ナル金融機關ノ欠乏ヲ憂ヒ第三十七議會ニ滿洲銀行法案ヲ提出シ主トシテ不動産若ハ不動産上ノ權利ヲ担保トスル勸業資金ノ供給ニ當ラシメントシタルモ不幸ニシテ議會ノ協贊ヲ經ルニ至ラス次テ寺内内閣ニ至リ本會社法ヲ改正シテ前述ノ如ク事業ノ經營ト資金ノ供給トヲ主客顚倒セシムルト共ニ從來朝鮮ニ限ラレタル會社ノ營業地域ヲ滿洲及那其ノ他外國ニ擴張シ特ニ滿洲ニ於テハ滿洲銀行ノ設立ニ代ヘテ專ラ本會社ヲシテ勸業資金ノ供給者タラシメタリ此ノ外事業會社ニ屬スル起業資金又ハ運轉資金ノ供給機關タラシムルノ目的ヲ以テ移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ノ應募引受(法第十三條第六号ノ)若ハ之等ヲ質トス

ル、貸付（法第十三條第七号）ヲモ認メ結
局一種ノ不動産金融ヲ目的トスル特殊
銀行タラシメタルトニ外ナラス之ヲ要スルニ大正
六年以前ニ於ケル東洋拓殖會社ハ事
業會社ニシテ傍ラ銀行業務ノ一部ヲ
兼營シタルモノトリシテ同年ノ改正ニ
依リ業務ノ目的ハ変更セラレ名称ハ
依然トシテ拓殖會社トリト雖其ノ實
体ハ不動産銀行ニシテ事業ノ経營ハ
其ノ従タル業務トシテ兼營スルモノ
タルニ過キサルコトトナリ加之其ノ
營業區域ハ廣ク東洋ノ全局ニ
亙リ之等ノ地方ニ於ケル資、金ノ需要ハ

將來愈大ナルヘキヲ以テ當社ヲ政府ニ
於テ監督スル以上政府ノ銀行ニ関ス
ル事務ヲ管理スル大藏大臣ノ管掌
ニ移スハ當然ニシテ拓殖事務局アルカ
故ヲ以テ之ヲ内閣ニ直屬セシムルカ如キ
ハ國務分掌ノ趣旨ニ反スルノミナラス被
監督者タル東洋拓殖會社ノ発達援護
ヲ疎緩スル所以ニモアラサルナリ

0000 0484
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、東洋拓殖會社ハ實質上ニ於テモ
金融機関化シタルコト

東洋拓殖會社ノ賤産ハ之ヲ大観スルトキ
ハ固定資産ハ對内債務（拂込資本金三五、
〇〇〇、〇〇〇円、準備金五、三七五、〇〇〇
円計四〇、七一九、二八五円）ヲ以テ充當セラレ對外債務
ニ依リテ調達セラレタル資金（社債一七三、四四七、五六九円
借入金七五、〇〇〇、〇〇〇円定期預リ金五、五四九、二六円）計一八六、
五〇二、四九五円）ハ之ヲ諸貸付金及株式社債ノ引
受ニ投シ居ルモノト見ルヘク而シテ会社法ノ
改正セラレタル前年即チ本邦大正五年度ニ於ケル
貸借対照表ト大正十二年度ニ於ケル同表トヲ
比較スルニ左ノ如ク（別一号表参照）

0000 0485
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

地所及経営費等 一八、〇〇七、二九七円 二五、八六四、五九五円

貸付金 五、六〇八、五九九、一五二、一一九、一四五、〃

ニシテ以テ會社カ專ラ勿ヨ金融業務ニ注ケルコトヲ知ルニ足ルヘシ

之ヲ以テ會社ノ収支関係モ同様ノ変化ヲ来シ総収入ニ対スル事業収入及金融収入ノ状況ハ（別ニ号表参照）左表ノ如クニシテ之亦ニ者其ノ地位ヲ全然顛倒シタルモノト云フヘキナリ

	五年	七年	九年	十一年	十二年
金融収入	九一三、九二〇円	六七四、三六八円	八五七、四九八円	一、八八二、三三八	
事業収入	二、〇一六、八八三	五四七、六七〇	四七、八九八	六二八、六七七	六四〇、〇六七

此ノ如ク當社収入ノ根底ヲ為スモノハ貸付金収入ニシテ農事収入ニ比シ其ノ割合年々著シク増加シツツアリ若シ利息ノ延滞甚シカラン（ママ）ニハ本年度末ニ於ケル数字ハ更ニ上リタルコト疑ナキ所ナリ尤モ農事収入亦大体ニ於テ漸増シツツアリ且大正七、八年ノ好況時ニ於ケル其ノ利益ノ割合ノ大ナルコトハ到底貸付金ノ比ニ非ラスト雖モ収入ハ穀價ノ高低ニ依リ著シキ増減アルヲ以テ會社ニ取リテハ極メテ不安定ナルモノト云ハサルヘカラス當社カ農事経営ニ対シテハ茫ントシテ現状維持ニ止メ專ラ金融ノ方面ニ発展ノ途ヲ拓キツツアルモノ獨リ法律改正ノ結果ノミニ非ラサルナリ

貸付金ノ収入カ會社ノ一大財源トナリタルコト上述ノ如キ実況ナルヲ以テ會社ハ一昨年

入ニシテ農事収入ニ比シ其ノ割合年々著シク

0000 0486
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

未其ノ決算一年一期ナルヲ年二期ニ改ムルコト

ノ承認ヲ要請シ其ノ理由トシテ「従前ノ

當社ノ業躰ハ朝鮮ノ農業経営ヲ主位トシ金

融収入ノ如キ謂フニ足ラス一年一回ノ農業収入ヲ

以テ収支ノ決算ヲ為サントスルヲ為メ一

年一期ノ決算ハ止ムヲ得サル所ナリシヲ近年

資金供給ノ業務著シク膨脹シ金利収入ハ當

社収入ノ重要部分ヲ占ムルコトトナリ二期決算

ヲ行フニ差支ナキ状況トナリタルコト」ヲ以テセリ

此ノ如ク當會社ハ正ニ名実共ニ金融機関ト化シタ

ルモノナルヲ以テ之ヲ大蔵大臣ノ所管ニ属セシムル

ハ洵ニ自然ノ帰結ナリト云ハサルヘカラス

三 今後共満鮮地方ハ不動産金融ノ

普及ヲ一層必要トスルコト

茲ニ民設ノ不上最モ肝要ナル施設ノ一ハ金融機関ノ

設置ニ在ルコト論ヲ俟タス而シテ我朝鮮及満洲

ニ於ケル金融上ノ已設機関ハ為替銀行ニ非サレハ

則チ兌換券発行銀行若ハ商業銀行ニシテ其ノ性

質上不動産抵當貸付及長期事業資金ノ貸付

ニ適セス唯朝鮮ニハ朝鮮殖産銀行アリト雖以

テ勿論一半ヲ数フニ足ラス故ニ之等ノ欠陥ヲ

補フヘキ不動産金融機関トシテノ東洋拓殖会社

ノ使命ハ一層重且大ナリト云ハサルヘカラス現ニ

会社ニ対スル資金ノ需要ハ年々激増シ會社

法改正當時ノコバランス」ハ僅ニ三三、〇〇〇、〇〇〇円ナリシ

0000 0487
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二大正十二年度末ニハ二四七、三三六、八四八円ニ上レルモノ

主トシテ貸付金ノ増加ニ在ルナリ

之ヲ朝鮮ニ就テ観ルニ当社カ朝鮮ニ設立セラレタル当初ニ於テハ農耕地ノ買収経営ト自作農以外地人移民ノ分配事業ニ最モ重キヲ置キタルモノナルモ韓国併合後漸次政府ノ朝鮮経営方針ニ変化ヲ見当社ノ土地買収ノ如キモ於テ主トシテカヲ盡サセルモノハ資金ノ供給事業會社ノ株式又ハ社債ノ引受、農業改良ノ為ニスル原料農具等ノ普及、水利開鑿事業ノ直営又ハ之ニ対スル金融及植林事業等ニシテ之等総投資額ハ大正十二年度末ニ於テ、八三、四一二、八三四円（一覧三号表参照）アリ内資金貸付額及引受株式高ハ八五八、八一一、〇九六円ニシテ実ニ其ノ大部分ヲ占ムル高ニシテ該貸付額ノ増加ノ趨勢ヲ観ルニ毎年一千万円前後ノ新規貸ヲ増加シ大正六年ニ於テハ總投資額ノ二割九分ナリシモノ前記十二年度末ニ於テハ六割七分ニ相當スルニ至レリ殊ニ注意スヘキハ朝鮮殖産銀行ハ大正七年中ニ新設セラレタルモ當社ノ貸付金ハ之カ為ニ別段ノ影響ヲ被ルコトナクシテ同一ノ歩調ヲ以テ増加シタルコトナリ此ノ外朝鮮總督府ハ其ノ管内ニ殖産及東

0000 0488
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

拓ノ二機関アルニ拘ラス尚水利鋭意事業促進
ノ為ニ新ニ土地改良株式會社ヲ創立セントシ
法案ヲ前ニ議會ニ引續キ提出シタルコトハ兎
モ角朝鮮ニ之等事業資金ノ需要大ナルコト
ヲ示スモノト云フヘシ
滿洲ニ対シテハ會社法改正ニ伴ヒ大正六年
十月ヨリ業務ヲ開始シタルモノニシテ其業
務ハ資金ノ供給ヲ主トシ事業トシテハ會社直
営ニ属スルモノ稀ニシテ地方的関係ニ於テ支那
人又ハ露西亜人ト或ハ形式上或ハ名実共ニ協同ノ
関係事業ト為スヲ必要トスル場合多キニ依リ
関係會社ヲ設立シ其ノ株式若ハ社債ヲ引
受クルコトニ依リ間接ニ事業ノ経営ニ干與シ
居レルモノトリ分シテ之等滿洲ニ本店ヲ有
スル関係會社中投資會社ハ東省実業外
三社此ノ引受株数二四三、五五三株金シタル證券
投資會社ハ裏亜本金業會社外二社此ノ引
受株数一九、五〇〇株之等ノ諸會社ニ対スル社
債引受額ハ五、四五〇、〇〇〇円ノ多キニ達スル滿洲
ニ於ケル貸出額ハ(第四号表参照)大正六年
二二六四、一一四トリシモノ六年後ノ十三年三月ニ於テ
ハ七四、二四六、七一二円
ニ於ケル不動産ニ対スル多額ニ上レリ然ルニ滿洲
銀行ノ貸出ニ属スルモノ尚八千万円以上ノ
巨額ニ達スト云フ之等ヲ綜合スルトキハ東
洋拓殖會社ノ改正ノ主旨ニ依リ金融機関ト

0000 0489
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

シテ満鮮ノ地ニ活躍スルノ必要ハ甚タ大ナルモノアリト云フヘク同社ヲ督励助勢シテ其ノ目的ヲ成就セシムルモノハ駐奠ニ対スル重督ノ職権ト指導ノ便宜トヲ具有スル宮處ナラサルヘカラサルナリ

四、東洋拓殖會社ハ社業ノ整備ヲ要スル状態ニ在ルコト

東洋拓殖會社ハ拓殖金融ヲ主タル目的トシ此ノ任務ノ遂行ニ努力シタル事績ハ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシト雖同社ノ禍根ト不備トハ亦此ノ点ニ存スル而シテ此ノ禍根ヲ去ルト共ニ資力ヲ充實セシムルハ實ニ當面ノ緊切事ニシテ之ヲ實現スル為ニハ先ツ以テ會社ノ監督ヲ大藏大臣ノ管掌ニ移スコト必要ナリト六

按スルニ本會社ハ特殊ノ拓殖金融機関トシテ專ラ朝鮮ノ開発ト外國特ニ満

0000 0490
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

洲ニ於ケル帝國ノ經濟的勢力ノ扶植擴
充ヲ以テ其ノ使命トシ設立以來十有五
年漸次社業ノ發展ヲ見タリト雖大正
九年以降久シキニ亘ル財界ノ不況ニ因
リ貸付金中巨額ノ固定貸ヲ生シ投資
事業ノ成績亦甚タ不良ナルニ加ヘテ戰
後亂リニ募集シタル短期内國社債ノ
償還期相踵テ至リ資金ヲ要スルコト
愈多クシテ之ヲ求ムルノ途益々困難
ナラントス即チ資産中ニ多額ノ欠損
ヲ抱擁セルコト、内ニ係事業ノ成績不振
ニシテ今後尚多額ノ投下ヲ要スル狀態
ニ在ルコト、資金調達至難ナルコト及

諸經費ノ支出多ク配當ノ負担重キニ
過クルコトハ當社ノ容易ナラサル欠
陷ナリ唯一方ニ佛貸社債ノ期限前償
還益少カラサルモノアルト農事經營
又ハ移住民ノ爲會社カ現物出資ヲ受
ケ又ハ買入レタル所有土地ノ價格ヲ原
價ノ儘ニ止メ其ノ帳簿價格カ時價ニ比
シ三分ノ一ニモ足ラサルコトハ慥ニ現在ニ
於テ當社ノ偉大ナル強味ナリト云ハサ
ルヘカラス然レトモ之等ハ又當社個然
ノ強味ニシテ処分スヘキ土地ヲ処分セ
スシテ低價ニ之ヲ所有シタルト佛貸ノ
下落ニ因ル浮益タルニ過キス當社カ

0000 0491
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

過去数年ノ間ニ於テ満洲ニ對シ俄ニ
五千萬円ノ巨額貸付ヲ為シタルハ其
ノ勞少カラストスヘキニ似タルモ而モ貸
付方法其ノ當ヲ得スシテ却テ投機ヲ
助長シ好景氣ニ乘シテ事業會社ノ
濫設ヲ幇助シ以ニハ一時ノ急ヲ凌ク為
短期社債ヲ濫発シ之ヲ長期資金ニ固
定シ配當率ヲ引上ケテ虚偽ノ決算ヲ
持續シタルカ如キ寔ニ道憾ニシテ主ト
シテ経營其ノ宜シキヲ得サルニ帰スト
雖監督方法其ノ宜シキヲ得サリシコト
モ亦其ノ一因タルコトヲ否ム能ハス
會社ノ資産總額ハ大正十二年末ニ於テ
二五八、八二〇、〇〇〇円ニシテ其ノ純資産額ハ
二二五、四二三、六八一円ニシテ此ノ内實ニ三〇、六〇〇、
〇〇〇円ノ欠損ヲ抱擁ス（第五号表）而
シテ其ノ收支状況ヲ通観スルニ第六号
表ノ如ク大正七年度ニ於ケル益金ハ一、
七八四、六七〇円十リシテ毎年漸増シテ大正十
一年度ニハ四、七五七、二八五円ニ上リ七年度ハ
歩ノ配當率ヲ八年度ニ於テ九歩ニ上シ
九年度ニ於テ更ニ一割ト十シ之ヲ持續
シ居リテ營業ノ成績ハ極メテ良好ナル
カ如キモ試シニ大正十一年ノ成績ニ付其
ノ内容ヲ業務別ニ研究スルニ（第七号表）
僅ニ農業ニ於テ三割六分三厘ノ利益アル

0000 0492
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ノ外金融、殖民、株券及事業ハ皆損失ヲ
出シ總体ニ於テ純損額實ニ一、一四六、〇〇〇
円ニシテ投資高ニ對シ六分四里ニ相當ス
營業ノ成績斯ノ如ク不良ナルニ拘ラス
大正十年度及十一年度ニ於テ臨時、收入
タル佛國社債ノ償還ニ因ル益金ヲ各約
一、七〇〇、〇〇〇円ヲ繰入レタルノ外幾多不當ノ
遣繰ヲ敢テシテ一割ノ配當ヲ継
續シタルモノニシテ本十二年度ニ於テモ外
國爲替益三、一二四、〇五〇円ヲ繰入レ（内一、五〇〇、
〇〇〇円ハ欠損償却ニ充當）漸ク八歩ノ配當
ヲ爲サントスルノ實況ナリ
更ニ之ヲ資金ノ蒐集カニ就キテ一考ス
ルニ當社業務地ノ如キ
未タ薄弱ナル方面ニ在リテハ一般ニ財力ノ根底
カ乏シク丸年末ノ如キ甚シキ金融ノ梗
塞ニ遇フヤ急ニシテ倒産者簇出ノ虞
アリ、然レトモ内地ニ其ノ根底ヲ有セス且
事業ノ内容ヲ汎ク理解セラル、コトノ困
難ナル當[社]ノ如キニ在リテハ金融一度梗
塞スルヤ社債ノ募集ハ容易ナラス假令
之ヲ募集シ得トスルモ金利ハ高ク償還
期ハ極メテ短ク當社ノ業務ニ適當ナル
長期低利ノ資金ヲ得ルコト頗ル困難ナ
ラサルヲ得ス加之金融機関トシテノ機能
不充分ナルヲ以テ一般銀行ノ如ク資金ノ

0000 0493
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

円滑ナル流出ヲ難キヲ以テ一旦資金ノ
供給ヲ開始スルモ後續シテ資金ヲ供
給スルノカナキナリ然ルニ今後六ヶ年間
ニ於ケル資金調達ニ付會社ノ計画ヲ視
ルニ（第八号表）一三五、〇〇〇、〇〇〇円ノ新規発行
ヲ要スルノ状態ニ在リ當社ノ如ク信用ヲ
失墜シタルモノカ現下ノ財界ニ於テ此ノ
如キ巨額ノ長期社債ヲ発行セサルヲ得
サルニ至ル其ノ困難ナル[redacted]実ニ察
リ會社ハ上述ノ如キ苦境ヲ蟬脱スル為
昨年来會社法改正案、証券取引法改正案
スル希望事項ヲ具シテ屢督促ニ請
願セリ其ノ要項左ノ如シ

甲會社法改正案

第十一條第一項
第四号　担保信託ニ関スル件
第五号　物品ノ保管、加工及賣買ニ
関スル件

第十三條第一項
第二号　生産物担保一年内貸付ノ範
囲変更ノ件
第四号　年賦貸期限延長ノ件
仝　第二項　手形割引貸付範囲横
張ノ件

第十三條ノ二第二項　定期預リ金限度

0000 0494
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ関スル件

第十六條　貸付金据置年限ニ関スル
　件

第二十三條第二項　前社債拂込完了前
　新社債募集ノ件

第二十三條ノ二　社債発行總額ニ関スル
　件

第二十六條ノ二　債券遺出及割増金附
　償還ニ関スル件

第二十六條ノ六　割引債券発行ノ件

第二十九條第一項　債券償還期限延長
　ノ件

一　希望事項

一、救済的應急資金トシテ二千五百萬円ヲ政府ヨリ當社ニ貸付セラレタキコト

二、朝鮮、滿洲其ノ他海外ニ於ケル公益事業又ハ特殊ノ有益ナル事業援助ノ爲政府ハ毎年預金部資金ヨリ相當金額ヲ當社ヲ通シテ融通セラルル途ヲ開カレタキコト

三、毎年三千万円乃至四千万円總額一億円ノ限度迄當社ノ債ノ募集ニ付キ元利金ノ支拂ヲ政府ニ於テ保証セラレタキコト

四、内地保険會社朝鮮及滿洲ニ於テ蒐

0000 0495
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

集スル保険料金ヲ其ノ地方ニ於テ
利用セシムルノ方法ヲ講セラレタキ
コト

然ルニ新幹部ハ到底整理ノ外會社救済
ノ途ナキヲ知リ會社トシテハ

一、経費ノ節約
二、配當率ノ低減
三、所有土地ノ処分
四、佛國社債償還並ノ欠損償却充當
ヲ断行スルニトトルト一面政府ニ對シ
一、欠損補塡ノ爲メ利子金二千萬円ノ融
通

二、外債八千萬円ノ政府保証

三、政府持株ニ對スル無配當
ノ各事項ヲ悃請シ（第九号表）大藏省
ニ於テ遂ニ之カ救済ヲ爲ササルヲ得サル
ニ至レリ以上請願ニ係ル各要項ハ殆ト
資金ノ一点ニ在リテ今後此ノ点ニ於テ
名種ノ援助ヲ與ヘサルヘカラサルノミナ
ラス整理ノ遂行ヲ監視督励シ社業ノ
基礎ヲ鞏固ナラシムルニハ會社ノ監督
ヲ現状ノ儘放置スルノ甚タ失當ナルヲ
知ル・・・リ

0000 0496
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

添付諸表

社業ノ要領

第一號表　毎年度貸借對照表
第二號表　毎年度收入額別表
第三號表　毎年度朝鮮投資額表
第四號表　毎年度滿洲貸出額表
第五號表　缺損及純資産額表
第六號表　既往五ヶ年度收支損益表
第七號表　大正十一年度平均投資額ニ對スル損益表
第八號表　社債償還年次表
第九號表　恩請ノ要綱（大正十三年春）

外參考表

社業要領

一、名稱　東洋拓殖株式會社

一、目的　朝鮮及外國ニ於ケル拓殖資金ノ供給其他拓殖事業ノ經營

一、所在地　本店、東京
支店、釜山、大邱、大田、裡里、木浦、京城、元山、沙里院、平壤、奉天、大連、青島、哈爾賓、
出張所、間島、

一、創立年月日、明治四十一年十二月廿八日

一、資本金、五千万圓（内拂込濟額三千五百万圓）

一、積立金、五百三十七万五千圓

一、社債、一億七千三百四十四万七千余圓

0000 0498
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、借入金、七百五十万圓
一、定期預り金、五百五十五万四千余圓
一、業務ノ種類
1、拓殖資金ノ供給
2、拓殖ノ為必要ナル農業水利事業及土地ノ取得、経営、處分、
3、拓殖ノ為必要ナル移住民ノ募集及分配
4、移住民ノ為必要ナル建築物ノ築造、賣買、及賃借
5、移住民又ハ農業者ニ對シ拓殖ノ為必要ナル物品ノ供給其ノ生産シタル物品ノ分配
6、委託ニ依ル土地ノ経営及管理
7、其他拓殖ノ為必要ナル事業ノ経営
8、定期預り金

一、配當率、年八分、
一、経營者、總裁、宮尾舜治
理事、池邊龍一、尾崎敬義、八木武三郎、
鈴木繁、沼田政二郎、
監事、島徳蔵、趙鎮泰、福本元之助、

一、監督官廳、
監督官廳ハ政府ニシテ内閣總理大臣
(拓殖事務局)之ヲ監督シ大藏大臣ハ
左ノ諸項ニ付拓殖事務官ヨリ協議並
通知ヲ受ク
甲 協議事項、
一、東拓法ノ改正、

0000 0499
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二、資本金ノ増加
三、存立期間ノ延長
四、定款ノ変更
五、支店又ハ出張所ノ設置
六、外國ニ於テ営ム事業及其ノ地域
七、利益金ノ處分
八、有價証券ノ買入認可、並余裕金預ケ先銀行ノ指定
九、借入金ノ認可
十、拓殖債券ノ發行
十一、拓殖債券ノ買入消却
十二、貸付金ノ利子又割引歩合
十三、總裁理事ノ任命
十四、拓殖ノ為必要ナル事業ノ経営ノ認可
十五、移住規則其ノ他ノ規定ノ認可
乙、通知事項
一、金融會計ニ関スル規定ノ制定又ハ変更
二、毎年度豫算、
三、毎年度末計算及毎營業期ノ景況

0000 0500
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

沿革

東洋拓殖株式會社ハ明治四十一年十二月當時我國ノ保護下ニ在リシ韓國ノ開發ノ急要ニ應スルカ爲日韓兩國政府協定ノ下ニ兩國各々東洋拓殖株式會社法ヲ制定シ兩國人中ヨリ設立委員百十五名ヲ任命シ正親町實正伯ヲ委員長トシテ資本金一千万円ヲ以テ設立セラレタルモノニシテ本店ヲ京城ニ置キ左ノ業務ヲ其ノ目的トセリ

一、農業
二、拓殖ノ爲必要ナル土地ノ經營及管理
三、拓殖ノ爲必要ナル建築物ノ賣買及貸借
四、拓殖ノ爲必要ナル日韓移住民ノ募集及分配
五、拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給
六、住民及韓國農業者ニ對シ拓殖上必要ナル物品ノ供給並其ノ生産又ハ獲得シタル物品ノ分配
七、拓殖上必要ナル資金ノ供給
附帯事業トシテ水産業其ノ他必要ナル事業ノ經營

之等ノ業務ヲ遂行セシムル爲日本政府ハ會社創立後八ヶ年間會社ノ利益配當カ拂込資本金ニ對シ年八分ニ達スル迄毎年三十万円ヲ補給スルコトヽシ利益配當カ一割ヲ越エルニ

0000 0501
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

至リタルトキハ其ノ越エル額ハ先以テ補給ノ
償還ニ當テシムルコト、シ韓國政府ハ價格
三百万円ニ相當スル國有地（田畑二七、六九六
町此價格一反歩當平均十六円九十一錢）ヲ出
資セリ、而モ尚資金ノ供給方法ヲ確實ナラ
シムルコトヲ必要トシ特ニ左ノ特典ヲ附與
シタリ、

一、資本金增加ハ拂込アルヲ要セサ
ルコト（法第四條）

二、東洋拓殖債券ノ所有者ニ對シ會社ノ財産
ニ付優先シテ弁濟ヲ受クルノ權利ヲ與ヘ
タルコト（法第七條）

三、東洋拓殖社債二千万圓ヲ限リ日本政府ニ
於テ其元利支拂ノ保証ヲ爲シタルコト（明
治四十一年八月廿六日）

斯クシテ會社ハ男爵宇佐川一正氏總裁ノ
下ニ明治四十一年末其ノ營業ヲ開始シ韓國
ニ於ケル農業経營、内地人移民ノ取扱及拓
殖資金ノ供給ニ努メタルモ良好ノ成績ヲ擧
クルニ至ラス年々政府ヨリ三十万円ノ補給ヲ
得テ漸ク低率ノ配當（註二）ヲ爲スノ狀態
ニシテ創立後滿四年大正二年二月ニ於テ宇
佐川總裁退任シ副總裁タリシ吉原三郎氏
其ノ後ヲ継キタルモ當時會社ノ主タル業務ハ
農事ノ経營ニシテ農業收入ヲ以テ殆ト唯
一ノ財源トシタルモ米價ハ極メテ低落シテ

0000 0502
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

利益擧ラス、貸付金ノ如キハ其ノ總額大百万圓未滿（註二）ニシテ利潤甚タ少ク、加之出費多キ移民事業ノ遂行ヲ必要トスルモノアリテ社業ノ狀態ハ更ニ改善ノ實ナク社内外ノ情勢ハ極メテ憂フヘキモノアリ毎次株主總會ハ常ニ甚シク紛糾ヲ重ネ又帝國議會ノ問題トナリタルコト一再ニ止ラス會社ノ前途ハ殆ント行詰リノ狀態ヲ呈シタリ.

註一、各期ノ配當率

四十一年、四十二年、四十三年、……大分
四十四年、四十五年、……六分五厘
二年、……七分
三年、四年、五年、……六分五厘

六年……七分五厘
七年……八分
八年……九分
九年、十年、十一年、……一割
十二年……八分

註二、各期ノ貸出金額及利子收入

年別	定期貸付金	年賦貸付金	株券及債券代理貸付金	計	貸付金利子	株券及債券收入	計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
明治四十二年	二二一	一	一	二二二	七	一	七
〃四十三年	四二九	一五七	一	五八六	二七	一	二七
〃四十四年	五一四	六二三	一	一、一三七	七四	一	七四
〃四十五年	九二五	一、四七六	一	二、四〇一	二〇二	一	二〇二
大正二年	一、四五二	二、四五七	一	三、九〇九	三二六	一	三二六

0000 0503
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正三年	一、六六七	三、六〇四	一	一	三四八	一	一	三四八	一	一	三四八
〃四年	一、四四一	四、二五八	一	一	五、五九九	一	一	七四三	一	一	七四三
〃五年	一、三八七	四、三二〇	一	一	五、六〇七	一	一	七四一	一	一	七四一
〃六年	四、二二九	七、八三四	三、六二七	一	一五、八八六	六九七	一六六	八六三			
〃七年	一四、二四九	一八、四五四	六、四七五	一	三九、七八	一、四三三	二一二	一、六四五			
〃八年	二二、五一八	二八、二三三	一五、九二七	一	八六、二七八	三、四六一	四一三	三、八七四			
〃九年	四五、二四一	四九、〇六三	一五、四九九	三四三	一一〇、一四六	六、七九八	八二八	七、六二六			
〃十年	六一、四四六	五五、三二七	二二、八二八	三三六	一三九、九三五	九、一三七	一、〇、〇二	一〇、一三九			
〃十一年	六九、〇四三	五七、五五三	二四、一二三	三三九	一五一、〇三八	一〇、二九三	一、一二五	一一、四四八			
〃十二年	九一、四二七	六〇、二九二	二一、七一〇	三二一	一七三、七五一	一一、四二〇	一、三二六	一二、七七六			

元來東洋拓殖株式會社制定ノ主要ナル目的ハ我國ノ熟練セル農夫ヲ韓國ニ移シ同國ノ鑛物若ハ未開ノ地ヲ開拓スルコトニ依リテ日韓兩國ノ利益ヲ圖リ兩國將來繁榮ノ基礎ヲ鞏固ニスルニ在リ（水町大藏次官提案說明）シモ設立後ニ於ケル會社ノ狀態ハ上述ノ如ク不振ナリシヲ以テ內務省及朝鮮總督府ハ一八之カ局面展開ノ爲會社法中改正法律案ヲ第三十七議會ニ提出シタリ其ノ要領左ノ如シ

提出事由

一永內務大臣

東拓ハ明治四十一年二日韓兩國ノ法律ヲ以テ設立致シマシタ、其ノ會社ノ設立目的ハ韓國ニ於テ農業ヲ營ミ拓殖上必要ナル資金ヲ供給シ又內地人ヲ韓國ニ移民ヲ致シテ其ノ土地ノ開發ヲ

0000 0504
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

計ルト云フコトニ在リマシタノデアリマス

然ルニ朝鮮併合ノ今日ニ於キマシテハ此ノ會社ニ関シマスル法文ノ改正ヲ要シマスル点モ少クナイノミナラス、又其ノ事業ヲシテ朝鮮統治ノ方針ニ吻合セシムルノ必要モコサイマス、更ニ會社ノ金融部ヲ擴張致シマシテ之ヲシテ勧業資金供給ノ中央機関タラシムルト同時ニ移民ヲ始メ水利事業其ノ外拓殖上必要ナル事業ノ發展ヲ圖リマシテ更ニ政府ノ許可ヲ得マシテ朝鮮以外ニ於テモ其ノ事業ヲ伸張スルノ運ヲ開クコトヲ適當ナリト考ヘマシテ之カ為ニ會社ノ基礎ヲ安固ニ致シ其ノ事業ノ發展ヲ期スルノ必要上今後八年間ヲ期シテ從來ノ補給ヲ継續シマスル趣旨ヲ以テ本案ヲ提出シマシタノデアリマス

改正ノ要項

一、營業區域ヲ外國ニ擴張スルコト

二、金融業務ヲ主タル業務トスルコト

三、東洋拓殖債券ニ割増金ヲ附與スルコトヲ得セシムルコト

四、監督權ニ関シ政府トアルヲ一部朝鮮總督ト改ムルコト

五、向フ八年間從來ト同一條件ニ依リ補給金ヲ継續スルコト

0000 0505

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

然ルニ本案ハ衆議院ニ於テ握リ潰シトナリ尋テ吉原總裁以下各重役ハ補給年限滿了ノ翌年度即チ任期半ニ於テ何レモ辭表ヲ提出シ約半歳ノ後大正五年十月石塚英藏氏總裁ニ就任シタリ當時會社ノ狀態ハ上述ノ如クニシテ政府ノ補給斷絶スルニ於テハ社業ノ進行容易ナラサルモノアリ更ニ新生面ヲ開キテ業務ノ發展ヲ企圖セサルヘカラサルノミナラス一面朝鮮ハ曩ニ我國ニ併合セラレテヨリ其ノ經營ノ方策モ保護國時代ト趣ヲ異ニセサルヘカラサルモノアリ、而シテ他面滿蒙、支那南洋及南米方面ニ對シ拓殖企業ノ有力ナル後援機關ヲ必要トスル狀勢切ナルモノアリシヨリ政府ハ此ノ時代ノ要求ニモ適應スヘク大正六年七月第三十九議會（臨時議會）ノ協賛ヲ經テ會社法ニ改正ヲ加ヘ以テ今日ニ至レリ、第三十九議會ニ於ケル東拓法中改正法律案提出ノ理由左ノ如シ

衆議院ニ於ケル勝田大藏大臣說明

「本案改正ノ大体ノ要旨ハ第一ニハ從來モヤッテ居リマシタガ拓殖ニ要シマス所ノ資金ヲ專ラ貸付ヲ致スト云フ精神ヲ以テ改正ヲ致シ即チ日本勸業銀行ヲシテ朝鮮ニ於テハ拓殖會社ニ代理

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

貸付ヲナサセルト云フ途ヲ開クコトニ
致シマシタ、第二ニハ此ノ會社ヲシテ移
民會社ノ社債或ハ株券ヲ引受ケシメ又
ハ移民ニ代理貸付ヲ爲サシメルト云フ
方法ヲ開キマシタ、第三ニハ滿蒙ニ於
ケル拓殖ノ爲ニ資金ヲ貸付ケルコト
即チモ少シ具体的ニ申シマスレハ所謂
不動產貸付ヲ滿洲ニ於テヤルト云フコ
トデアリマス、ソレカラ條文ノ整理並組
織其ノ他ニ亙ツテ多少改正ノ点カアリ
マスカ是ハ夕ダシク申上ケマセヌ
唯タ一ツ申上ケテ置キマスノハ補助ノ点
テ御座イマス……大体右ノ如キ

主ト云テアリマシテ此ノ如ク廣ク仕事
ヲヤラセマスニ就テハ拓殖會社ノ業
務ヲ鞭撻指導シ又
依リマシテ此ノ監督カ今迄ハ朝鮮總
督テアリマシタカ中央ニ移シマシテ中
央ニ於テ之ヲ監督スル、斯様ナ精神ヲ
以チマシテ此ノ法案ヲ提出シマシタ
右ノ如クニシテ(一)會社ノ本店所在地ハ
京城ニアリシヲ東京ニ改ムルト共ニ會
社ノ主タル監督官廳ハ事實上朝鮮總
督府ナリシヲ中央政府ニ改メ(二)從來
朝鮮ニ限局セラレタル業務ノ地域ヲ朝
鮮及外國ニ擴張シ(三)事業ノ目的ニ於テ

十

0000 0507
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

拓殖資金ノ供給ヲ主ト為サシムル趣旨
ヲ以テ資金貸付ノ方法及範圍ヲ擴張シ
且拓殖事業ヲ營ム會社ノ株券及債券ノ
應募引受ヲ為シ以テ新事業ノ興起ヲ
援助スルノ項目ヲ加ヘ(四)朝鮮ニ於テハ日
本勸業銀行ノ代理貸付ヲ為スノ途ヲ開
キ(五)政府ノ三十万円ノ補給ハ八ヶ年間ノ
期間滿了ニ依リ斷絶シタルモ新ニ八ヶ年
ヲ限リ政府特殊以外ノ株式払込金ニ對シ
利益配當年八分ニ達スル迄ハ政府ノ持
株ニ對シ配當免除ノ特典ヲ與ヘタル(註)
等會社法ノ改正(別表新旧會社法對照表
參照)ヲ為シタル外横浜正金銀行ノ滿洲
ニ於ケル特別貸付ヲ當ニ引継カシメタリ。

註

政府ノ補給左ノ如シ

四十一年、四十二年、四十三年、　各三十万円宛
四十四年　　二十七万八千円
四十五年、二年、三年、四年　　各三十万円宛
計　　二百三十七万八千円

0000 0508
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一号表

東洋拓殖株式會社貸借對照表

資產ノ部

科目＼年度	大正五年度	大正六年度	大正七年度	大正八年度	大正九年度	大正十年度	大正十一年度	大正十二年度
拂込未濟資本金	円	円	七五〇〇〇〇〇 円	二二五〇〇〇〇〇 円	二二五〇〇〇〇〇 円	一五〇〇〇〇〇〇 円	一五〇〇〇〇〇〇 円	一五〇〇〇〇〇〇 円
諸預ケ金	四六九五六七六	一六二五九九九	七五七八五六	一二八五二二	九二六二二〇九	一〇九五二三〇	一四二九七八五	一四八七九二三七
定期償還貸付金	一二八七六三二	四二二五〇一一	一四二九七八五	三二五八五二八	四五二四一九〇七	六一四四六七四九	三四二四九七八五	一四八七九二三七
年賦償還貸付金	四三二〇九六七	七八三四四〇七	八四五四二九	三二五八五二八	四五二四一九〇七	六一四四六七四九	三四二四九七八五	一四八七九二三七
株券及債券	一	三六二七五〇〇	六四七五五〇〇	一五五二七八四〇	一五四九〇六三五八七	一二三八四九三	一四二四九七八五	一四八七九二三七
地所及建物	一六二九一八四四	一六五二一三〇	一六八四六七五	一六三九四五三	一六三四八〇七	一八四八〇五三	一九三四八〇七	一九八二七二九
年賦讓渡地及同建物	一	一	一	一	一	一	一	一
其ノ他	四七〇三〇五二	六二九四三四五	五三七二四九六	一〇九三三七四二	一六〇六三八五五	一四二四一七三〇	一四〇四八五七	一九四二六八五
計	三一二九九一七一	五四七〇三九二	七五八二三五一	一四八七九二三七	一七二九七七二七	一九八二七二九	二二八八六一三五	二四七二三六八四九

0000 0509

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

科目＼年度	大正五年度	大正六年度	大正七年度	大正八年度	大正九年度	大正十年度	大正十一年度	大正十二年度
資本金	一〇、〇〇〇、〇〇〇円	一〇、〇〇〇、〇〇〇円	二〇、〇〇〇、〇〇〇円	五〇、〇〇〇、〇〇〇円	五〇、〇〇〇、〇〇〇円	五〇、〇〇〇、〇〇〇円	五〇、〇〇〇、〇〇〇円	五〇、〇〇〇、〇〇〇円
諸積立金及前期繰越金	八四七、五一七	九七四、五八八	一、〇七二、七八六	四、二〇六、九一七	四、五七二、五一七	四九一七、五一七	五、三七六、二八六	九、七一九、二八六
借入金	—	—	二、〇〇〇、〇〇〇	四、九二一、八〇〇	七、一〇五、五〇七	九、〇二五、七六〇	九、〇〇〇、〇〇〇	七、五〇〇、〇〇〇
債券発行高	一九、三五〇、〇〇〇	三六、三五〇、〇〇〇	四〇、九四四、六八八	六五、九四四、六八八	九五、三八五、三三三	一四、三〇一、三八七	一四、三五、三三二	一七、三四四、五七〇
定期預リ金	—	二、二五〇、〇〇〇	六、三二五、六九七	一六、四四七、五七七	一一、〇九〇、三五四	一四、八七、五〇〇	一七、〇六一、四一四	五、五五四、九二六
其ノ他	一、一〇一、六五四	五、二九、四〇四	五、四六九、四五〇	七、二七二、六一五	五、八二三、〇六	五、一四五、〇五一	六、四八八、一〇三	五、二一五、〇六七
計	三一、三九九、一七一	五四、七〇三、九九二	七五、八一三、五五一	一四八、七九三、三二七	一七三、九七七、七一七	一九八、二七七、二一五	二二八、八六一、一三五	二四七、三六八、四九

第二號表

毎年度收入額別表

種別＼年度	五年度	七年度	九年度	十一年度	十二年度
事業收入	二、〇一六、八八三円	五、四七九、六六九円	四、七八二、九八三円	五、二八六、〇三七円	六、四〇六、〇六七円
金融收入	九一三、九二〇	二、七四七、三三六	八、五七六、七四二	一三、八七四、九一九	一六、八六二、三三八
計	二、九三〇、八〇三	八、二二六、九九六	一三、三五九、七二五	一九、一六〇、九五六	二三、二六八、四〇五
總額ニ對スル事業收入割合	六九	六七	三六	二七	二八
金融收入割合	三一	三三	大四	七三	七二

0000 0510

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第三号表

朝鮮投資表

区分＼年度	六年度	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	十二年度
農業	三、七五六、七六六円	三、九七、二四三円	三、四三四、四五円	五、四三、七九円	五、八四二、九七円	六、七六四、七四八円	六、八五七、〇二八円
林業	三〇二、四四九	三七三、一六一	四五八、九二八	五六、五六六	七九一、六五〇	八七六、二三〇	一、〇一九、三二
直営水利開墾	八九二、二四八	八九二、四四五	八九六、五二二	八九六、五二二	九三八、四三九	一、〇二四、六七二	一、〇九八、八〇四
移民	二、六五九、〇五〇	二、九〇七、三一三	三、四六四、六〇〇	四、八四五、一五二	五、四九〇、三七八	五、三七二、九二六	五、六二七、九七四
資金貸付引受株式	一、二六七、五六二	二〇、六六一、五二七	三六、六〇五、四五八	二、九五二、七二五	二、七〇一、四七五	二、七二六、四七五	二、七二六、四七五
合計	二八八七八〇七五	三八七三八二四九	五七、八七〇、八三四	七二、一〇、三七三四	八二、八八二、八九七	八三九二九、六八四	八三四一五、八三四
合計ニ対スル資金貸付ノ割合	一割二九	一割五三	一割大三	一割大三	一割大九	一割大八	一割大七

0000 0511

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四号表

満洲貸出表

用途別			六年度	七年度	八年度	九年度	十年度	十一年度	十二年度
土地改良及開墾	金額	円	六三一、一〇五	一、八六五、三一二	二、三五六、四一四	六、八三四、〇二六	五、六六九、七九六	三、〇三一、二五八	二、八三九、六一〇
	口数		一五	五七	四九	一八四	九一	七九	六七
市街経営	〃		七八、四〇〇	五、五一二、二七〇	一六、三〇八、八四七	三一、〇八三、四八八	二九、五八三、三五〇	三九、三五四、八六七	三七、三九、三五〇
農林業	〃		七〇	四二七	一、〇五五	一、三五六	一、七一二	一、七〇三	二、〇四
	〃		一〇	二四	八一	五三八	五六五	七二	五二二
鑛業	〃		二一三、九二五	六二三、三五三	一、二六六、五五八	三、九四七、三五三	四、五七六、二九七	二、三七四、五五三	三、二三五、五一四
	〃				六二一、五五二	八九九、三一四	八〇八、七九〇	七二三、九八二	六九二、七六八
水利事業	〃				八	五三八	五六五	七二	五二二
	〃					一五	一四	一二	一三
	〃					一、六〇〇	三五四五二		一六〇
			一	一	一	三	四	一	一

0000 0512

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

第五号表

缺損及純資産額表

區分	資産價額	缺損見込額	純資産價額
(一) 株式	一二、四六八、三〇八円	四、九〇〇、五〇七円	七、五六七、八〇一円
(二) 債券	一一、八七〇、一〇〇	二、一三五、〇〇〇	九、七三五、〇〇〇
(三) 貸付金	一五四、四六七、七〇三	五、〇二三、六四五	一四九、四四四、〇五八
(四) 其ノ他	四六、六一七、六六九	二、九四〇、八四八	四三、六七六、八二一
計	二二五、四二三、六八〇	一五、〇〇〇、〇〇〇	二一〇、四二三、六八〇

備考　貸付金一四九、四四四、〇五八円ノ内二八、一六、六〇九、六五一円ノ欠損ヲ含ム

0000 0514
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第六号表

既往五ヶ年度収支損益表

年度	収入	支出	損益	配當率
大正七年度	九、一八六、五一四円	七、四〇一、八四四円	一、七八四、六七〇円	割八〇
〃 八年度	一二、一八七、四七一	九、八五九、五八六	二、三二七、八八五	九〇
〃 九年度	一三、七〇四、〇一五	九、九二七、七三〇	三、七七六、二八五	一、〇〇
〃 十年度	一八、一七八、一八四	一四、二五五、一三〇	三、九二三、〇五四	一、〇〇
〃 十一年度	一九、五〇五、二四一	一四、七四七、九五六	四、七五七、二八五	一、〇〇

0000 0515

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第七号表

大正十一年度平均投資額ニ對スル損益表

区分	投資額	益金	損金	差引損(△)益金	歩合
農業	一八、〇五三、六〇〇円	四、五〇九、一八二円	三、八五三、三四一円	六五五、八四一円	劃三六三
殖民	二、九七七、一〇〇	三三〇、八七四	三八五、〇六八	△五四、一九四	△一八二
金融	一三八、四六八、八一〇	一一、五二六、七六六	一二、〇三九、七七四	△五一三、〇〇八	△〇三七
株券	一一、八四三、一〇〇	三二四、四〇五	九六〇、一五四	△六三五、七四九	△五三七
事業	七、五七四、九〇〇	一九五、五〇一	七九四、四五六	△五九八、九五五	△七九一
合計	一七八、九一七、六〇〇	一六、八八六、七二八	一八、〇三二、七九三	△一、一四六、〇六五	△〇六四

備考

一、本表ニ掲クル投資額ハ各月末現在高ノ平均ニ依ル

一、本表ニ掲クル損益金ノ損益計算表ト符合

0000 0516
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

七サルハ佛國社債償還益金一、七一九、九二〇円ヲ控除シ支拂利息三三九、一四四円ヲ加算シ尚總係費（損失）五五四、三〇八円ヲ益金ト相殺シタルニ依ル

一、本表ノ損金中ニハ配當金三、五〇〇、〇〇〇円ヲ包含ス

第八号表

社債償還年次表（單位千円）

	十二年度末發行現在高	償還年次割 十三年度	十四年度	十五年度	十六年度	十七年度	十八年度	十八年度末發行現在高	備考
既發行分計	一七一、三九七	三四、三二八	二八、二二八	二二、三二八	二一、〇七八	六五八七	九八九六	四八、七五二	
内債 新低利資金	十三年度發行 二〇、〇〇〇	二九、二四三							
同 新一	〃 一五、〇〇〇	一	一	一	一	一	（二、〇〇〇）	一八、〇〇〇	利率年六分手取百円ニ付五年据置爾後十年ニ償還
外債 新一	〃 二〇、〇〇〇	一	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一	利率年七分手取九十五円五年償還
同 新二	十四年度發行 三〇、〇〇〇	一	一	七五〇	七五〇	七五〇	七五〇	二七、〇〇〇	同上
同 新三	十五年度發行 三〇、〇〇〇	一	一	一	七五〇	七五〇	七五〇	二七、七五〇	同上
内債 新二	十八年度發行 一〇、〇〇〇	一	一	一	一	一	一	一〇、〇〇〇	十二年度發行内債新一号ニ同シ
同 新三	〃 一〇、〇〇〇	一	一	一	一	一	一	一〇、〇〇〇	同上
通計		三四、三二八	二八、七二八	二三、七七八	二一、〇七八	一三、五八七	二一、八九六	一五九、〇〇二	
新規發行分計	新發行額 一三五、〇〇〇		五〇〇	一、二五〇	二、〇〇〇	七、〇〇〇	一二、〇〇〇	一二、二五〇	

0000 0517

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

備考

一、本表中×印ヲ附シタルハ佛債償還、現金所要ヲ示シタルモノナリ

二、償還額ノ計中ニハ十三年度発行、新低利資金償還額ヲ算入セス

第九号表

（大正十三年春）

一、會社ニ對シ缺損補填ノ資源トシテ低利資金二千萬円ヲ融通セラレタキコト

二、會社カ既発ノ社債ヲ償還スルタメ外國ニ於テ発行スル社債八千萬円ニ對シ政府ニ於テ元利ノ仕拂ヲ保証セラレタキコト但シ其ノ償還期限ハ起債ノ日ヨリ三十年以内タルコト

三、會社カ前項ノ社債ヲ償還スルタメ外國ニ於テ社債ヲ發行スルトキハ其ノ償還期限カ通シテ三十年以内ナル場合ニ限リ前項ノ制限ニ拘ハラス其ノ社債ノ元利ノ仕拂ヲ保証セラレタキコト

四、東洋拓殖株式會社法第四十條ノ二ノ規定ヲ改正シ

0000 0518
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大正十八年度迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益配當ヲ要セサルコトニ改メラレタキコト

關係會社一覽（甲）（大正十三年三月末日現在）

引受年度	會社名	設立年月日	本店所在地	資本金	總株數	本社引受株數	拂込額	最近配當率
六年度	海外興業	大正六年十月	東京	五、〇〇〇、〇〇〇円	一〇〇、〇〇〇株	二七、二八九株	七四七、六九七、五〇円	三分強
七年度	東省實業	大正七年五月	奉天	三、〇〇〇、〇〇〇	旧四〇、〇〇〇 新二〇、〇〇〇	旧一〇、二〇〇 新一九、九七〇	一、〇〇九、二五〇	七分
〃	北滿電氣	大正七年四月	哈爾賓	一、二〇〇、〇〇〇	二四、〇〇〇	六、〇〇〇	二二五、〇〇〇	九分
〃	東洋畜産	大正七年十月	京城	一、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇 一〇〇	二五一、二五〇	無
〃	滿蒙毛織	大正七年十二月	奉天	一〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一、八四、五七五	無
八年度	朝鮮電興	大正八年五月	平壤	一〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	七五、〇〇〇	無
〃	朝鮮肥料	大正八年十二月	新義州	三、〇〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	二四、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	無
〃	山東起業	大正九年一月	青島	一〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	五九、五四〇	九四四、二五〇	六分強
九年度	東亞勸業	大正十年十二月	奉天	二〇、〇〇〇、〇〇〇	四〇〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	三分強
〃	南洋興發	大正十年十二月	東京	三、〇〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四二、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	無

0000 0519
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十三年度	朝鮮鉄道	大正十二年九月	京城	五四、五〇〇、〇〇〇	一、〇九〇、〇〇〇	一、〇九	〇、〇〇〇				
計	一一會社			二〇、七〇〇、〇〇〇	二、四一四、〇〇〇	九五三、三八二	一〇、〇〇〇	一、四二五、〇〇〇	一〇、六八四、五二五〇		八分

關係會社一覽

(乙)

(大正十三年三月末日現在)

引受年度	會社名	設立年月日	本店所在地	資本金	總株数	拂込額	本社引受	最近配當率
七年度	朝鮮殖産銀行	大正七年十月	京城	三〇、〇〇〇、〇〇〇円	新旧 四〇〇、〇〇〇株 二〇〇、〇〇〇	新旧 四〇六 三〇二	新 一、〇〇〇 旧 二、〇〇〇	九分
八年度	東印度起業	大正八年七月	東京	一、〇〇〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	六分
〃	亜細亜煙草	大正八年九月	東京	一〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	五分強
〃	日本信託銀行	大正九年三月	大阪	五〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	五分
〃	東亜土木企業	大正九年一月	大連	五、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一、二五〇、〇〇〇	一、二五〇	八分
九年度	漢城銀行	昭和六年十二月	京城	大、〇〇〇、〇〇〇	新旧 大〇、〇〇〇 大〇、〇〇〇	新 一、〇〇〇	新 一、〇〇〇	五分
〃	隆亜公司	大正九年二月	天津	五、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	四九、一三五	二、五〇〇	無
〃	東豫實業	大正九年六月	開封	五〇、〇〇〇	五、〇〇〇	二、五〇〇	銀一一二、五〇〇元	無
〃	山東鑛業	大正九年十月	青島	一、五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二五、〇〇〇	五分
十二年度	山東倉庫	大正十二年十月	東京	五、〇〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇	一一二、五〇〇	無

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

| | | |

0000 0523

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp